

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		商店街（代表者）	お客様の様子	・新規出店の話が多く聞かれる。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・クールビズの効果でシャツやスラックスを始め衣料品の動きが活発になっている。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・天候に恵まれて、商品単価が上昇し、ボーナス支給も良かったのか来客数も増加した。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・京阪神・愛知万博を中心にした職場旅行や、沖縄・鹿児島・北海道を中心にしたゴルフ招待旅行などの団体旅行が多くあり、売上は順調である。また、夏休みの家族旅行の相談も多い。
	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・悪天候による影響もあったが、3か月前と比べると、来客数は着実に増加している。	
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・学生はよく来店するが、高齢者やファミリー層が、普段より少ない。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	単価の動き	・新規開店やスナックなどは増加しているが、大型店との価格競争が相変わらず激しいため、売上は若干減少している。
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	お客様の様子	・欲しい商品は購入するが、予算や値段には敏感で、どうしても欲しいというわけではない商品を我慢して、支出を抑える傾向がうかがえる。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・来客数は変わらず、客単価は低位で一定している。
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・夏物パーゲン商戦に入り、普段あまり来店されない客も多く見られるが、安いものを探している方が多い。また、単品買いが多く、衝動買いやまとめ買いが少なく、以前と傾向は変わらない。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・前年と比べて来客数及び売上高は共に若干減少した。その内訳は、ファッション関連商品は前年を確保し、ブランド商品は前年を上回ったが、お中元の法人需要が落ち込み、ギフト食品も減少した。
		スーパー（店長）	それ以外	・お中元の動きは、去年のお中元やお歳暮の流れと変わらない。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・天候の影響により、売上は増えたが、競合店が毎年増えてきており、様々な新商品や新サービスを実施しても、前年の売上を確保することはかなり難しくなってきた。
		その他専門店〔CD〕（店員）	お客様の様子	・単価の高い商品も売れるが、基本的にはほしい商品だけを購入する傾向が続いており、売上の増加につながっていない。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・愛知万博の影響により、客数が増えない。
		タクシー運転手	単価の動き	・ボーナス月にもかかわらず、客数、客単価ともに増加しない。
		観光名所（経営者）	来客数の動き	・グループ及び家族連れ旅行者が愛知万博に流れ減少している。
		設計事務所（職員）	競争相手の様子	・競争相手を見ると、販売量が減少しており、それに伴い残業時間が減り、給与が減少している。
	やや悪く なっている	スーパー（店長）	競争相手の様子	・競合店のチラシをみると、頻度や大きなサイズのもの、昨年より増えている。また、スタンプサービス日なども増加しており、売上確保に苦慮していることがうかがえる。
スーパー（財務担当）		来客数の動き	・既存店の来客数を3か月前の前年比でみると、103.7%が100.2%と3.5ポイント悪化した。	
住宅販売会社（従業員）		来客数の動き	・展示場への来場者数が昨年と比べて少なく、具体的な商談件数が減った。	
乗用車販売店（従業員）		販売量の動き	・ボーナスシーズンにもかかわらず、今月半ば過ぎから急に売上が下がった。	
乗用車販売店（従業員）		販売量の動き	・販売車種の見直しにより、新車受注台数が伸び悩んでいる。	

		タクシー運転手	来客数の動き	・夜の飲み屋にあまり人が出ておらず、暑いので昼もあまり人が動いていない。また、八十八か所めぐりの仕事も、暑いので多少減っている。
	悪くなっている	一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・料飲店の販売量が落ちている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・バーゲン月にもかかわらず、お客さんの反応が悪く来客数が少ない。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	木材木製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・顧客へのダイレクト販売が徐々に効果を上げている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・既存の車両の老朽化と中古車価格の高騰により、新規購入台数は堅調に推移している。
		電気機械器具製造業（経営者）	それ以外	・円安による輸出採算性が向上している。
		広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・関東圏での受注や引き合いがかなり多く、新規受注も見込めるクライアントも幾つかあり、好調に推移している。
	変わらない	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・一部の専門店での高額品などは好調に推移しているが、百貨店でのギフト需要は、相変わらず低迷しており、まだら模様である。
		化学工業（営業所長）	取引先の様子	・取引先の状況を見ると、注文が減っていく状況下において競争がより激しくなり、価格下落傾向が続いている。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事のうち、土木関連は全く受注がない。建築関係も見積はかなりあるが、価格が全く合わず、契約に至らない。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・取引先企業の決算状況を見ると、ほとんどが昨年と比べ減収、若しくは横ばいである。
		公認会計士	取引先の様子	・クライアントの決算状況を見ると、昨年と比較して、数値が悪化傾向を示している企業がまだ多い。
	やや悪くなっている	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新商品の動きが悪くなっている。また、人民元の切上げも、不安感がある。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・家庭紙の動きが悪く、単価も想像以上に下落している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・電気関係の仕事が極端に減っている。
	悪くなっている	-	-	-
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（支店長）	雇用形態の様子	・採用の動きが活発で、当初3か月から半年の派遣後、正社員、契約社員になる紹介予定派遣が非常に増えてきている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・正社員としての就職が増えている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は、前年同月比で、2か月連続して増加した。産業別で見ると、運輸業、卸小売業、サービス業などで減少したものの、その他の産業では増加し、特に、業務請負業から大口求人であった製造業、情報通信業、医療・福祉業で増加している。
		民間職業紹介機関（所長）	求職者数の動き	・3か月前と比べて求職者数が減少している。例年ポ・ナス月になると求職者が増える傾向にあるが、今年はその現象が少ないことから、企業におけるポ・ナス支給が順当に支払われていることがうかがえる。
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・週に2～3日（主に土日祝）の求人数は昨年より若干増えているが、フルタイム雇用の求人数は昨年とあまり変わらない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・新規開店やビルの落成時の祝賀広告が、相変わらず少ない。新規事業への投資マインドが低下している状況と考えられる。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数が少し減少している。
	悪くなっている	-	-	-